

ヤコブの手紙

James

新約聖書

第1章

- 1 神と主イエス・キリストのしもべヤコブが、離散している十二部族にあいさつを送ります。
- 2 私の兄弟たち。様々な試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。
- 3 あなたがたが知っているとおりに、信仰が試されると忍耐が生まれます。
- 4 その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは何一つ欠けたところのない、成熟した、完全な者となります。
- 5 あなたがたのうちに、知恵に欠けている人がいるなら、その人は、だれにでも惜しみなく、とがめることなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば与えられます。
- 6 ただし、少しも疑わずに、信じて求めなさい。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く、海の大波のようです。
- 7 その人は、主から何かをいただけるとってはなりません。
- 8 そういう人は二心を抱く者で、歩む道すべてにおいて心が定まっていないからです。
- 9 身分の低い兄弟は、自分が高められることを誇りとしなさい。
- 10 富んでいる人は、自分が低くされることを誇りとしなさい。富んでいる人は草の花のように過ぎ去って行くのです。
- 11 太陽が昇って炎熱をもたらすと、草を枯らしめます。すると花は落ち、美しい姿は失われます。そのように、富んでいる人も旅路の途中で消えて行くのです。
- 12 試練に耐える人は幸いです。耐え抜いた人は、神を愛する者たちに約束された、いのちの冠を受けるからです。
- 13 だれでも誘惑されているとき、神に誘惑されていると言ってははいけません。神は悪に誘惑されることのない方であり、ご自分でだれかを誘惑することはありません。
- 14 人が誘惑にあうのは、それぞれ自分の欲に引かれ、誘われるからです。
- 15 そして、欲がはらんで罪を生み、罪が熟して死を生みます。
- 16 私の愛する兄弟たち、思い違いをしてはいけません。
- 17 すべての良い贈り物、またすべての完全な賜物は、上からのものであり、光を造られた父から下って来るのです。父には、移り変わりや、天体の運行によって生じる影のようなものはありません。
- 18 この父が私たちを、いわば被造物の初穂にするために、みこころのままに真理のことばをもって生んでくださいました。
- 19 私の愛する兄弟たち、このことをわきまえていなさい。人はだれでも、聞くのに早く、語るのに遅く、怒るのに遅くありなさい。
- 20 人の怒りは神の義を実現しないのです。
- 21 ですから、すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、心に植えつけられたみことばを素直に受け入れなさい。みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。
- 22 みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者となってははいけません。
- 23 みことばを聞いても行わない人がいるなら、その人は自分の生まれつきの顔を鏡で眺める人のようです。
- 24 眺めても、そこを離れると、自分がどのようなであったか、すぐに忘れてしまいます。

- 25 しかし、自由をもたらす完全な律法を一心に見つめて、それから離れない人は、すぐに忘れる聞き手にはならず、実際に行う人になります。こういう人は、その行いによって祝福されま
- 26 自分は宗教心にあついと思っても、自分の舌を制御せず、自分の心を欺いているなら、そのような人の宗教はむなししいものです。
- 27 父である神の御前でよく汚れのない宗教とは、孤児ややもめたちが困っているときに世話をし、この世の汚れに染まらないよう自分を守ることです。

第2章

- 1 私の兄弟たち。あなたがたは、私たちの主、栄光のイエス・キリストへの信仰を持っていながら、人をえこひいきすることがあってはなりません。
- 2 あなたがたの集会に、金の指輪をはめた立派な身なりの人が入って来て、また、みすぼらしい身なりの貧しい人も入って来たとして。
- 3 あなたがたは、立派な身なりをした人に目を留めて、「あなたはこちらの良い席にお座りください」と言い、貧しい人には、「あなたは立っていなさい。でなければ、そこに、私の足もとに座りなさい」と言うなら、
- 4 自分たちの間で差別をし、悪い考えでさばく者となったのではありませんか。
- 5 私の愛する兄弟たち、よく聞きなさい。神は、この世の貧しい人たちを選んで信仰に富む者とし、神を愛する者に約束された御国を受け継ぐ者とされたではありませんか。
- 6 それなのに、あなたがたは貧しい人を辱めたのです。あなたがたを虐げるのは富んでいる人たちではありませんか。また、あなたがたを裁判所に引いて行くのも彼らではありませんか。
- 7 あなたがたがその名で呼ばれている尊い御名を汚すのも、彼らではありませんか。
- 8 もし本当に、あなたがたが聖書にしたがって、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という最高の律法を守るなら、あなたがたの行いは立派です。
- 9 しかし、もし人をえこひいきするなら、あなたがたは罪を犯しており、律法によって違反者として責められます。
- 10 律法全体を守っても、一つの点で過ちを犯すなら、その人はすべてについて責任を問われるからです。
- 11 「姦淫してはならない」と言われた方は、「殺してはならない」とも言われました。ですから、姦淫しなくても人殺しをすれば、あなたは律法の違反者になっているのです。
- 12 自由をもたらす律法によってさばかれることになる者として、ふさわしく語り、ふさわしく行いなさい。
- 13 あわれみを示したことがない者に対しては、あわれみのないさばきが下されます。あわれみがさばきに対して勝ち誇るのです。
- 14 私の兄弟たち。だれかが自分には信仰があると言っても、その人に行いがなければ、何の役に立つでしょうか。そのような信仰がその人を救うことができるでしょうか。
- 15 兄弟か姉妹に着る物がなく、毎日の食べ物にも事欠いているようなときに、
- 16 あなたがたのうちのだれかが、その人たちに、「安心して行きなさい。温まりなさい。満腹になるまで食べなさい」と言っても、からだに必要な物を与えなければ、何の役に立つでしょうか。

- 17 同じように、信仰も行いが伴わないなら、それだけでは死んだものです。
- 18 しかし、「ある人には信仰があるが、ほかの人には行いがあります」と言う人がいるでしょう。行いのないあなたの信仰を私に見せてください。私は行いによって、自分の信仰をあなたに見せてあげます。
- 19 あなたは、神は唯一だと信じています。立派なことです。ですが、悪霊どもも信じて、身震いしています。
- 20 ああ愚かな人よ。あなたは、行いのない信仰が無益なことを知りたいのですか。
- 21 私たちの父アブラハムは、その子イサクを祭壇に献げたとき、行いによって義と認められたではありませんか。
- 22 あなたが見ているとおり、信仰がその行いととも働き、信仰は行いによって完成されました。
- 23 「アブラハムは神を信じた。それで、それが彼の義と認められた」という聖書のことばが実現し、彼は神の友と呼ばれたのです。
- 24 人は行いによって義と認められるのであって、信仰だけによるのではないことが分かるでしょう。
- 25 同じように遊女ラハブも、使者たちを招き入れ、別の道から送り出したので、その行いによって義と認められたではありませんか。
- 26 からだが霊を欠いては死んでいるのと同じように、信仰も行いを欠いては死んでいるのです。

第3章

- 1 私の兄弟たち、多くの方が教師になってはいけません。あなたがたが知っているように、私たち教師は、より厳しいさばきを受けます。
- 2 私たちはみな、多くの点で過ちを犯すからです。もし、ことばで過ちを犯さない人がいたら、その人はからだ全体も制御できる完全な人です。
- 3 馬を御するためには、その口にくつわをはめれば、馬のからだ全体を思いどおりに動かすことができます。
- 4 また船を見なさい。あのように大きくて、強風を受けていても、ごく小さい舵によって、舵を取る人の思いどおりのところへ導かれます。
- 5 同じように、舌も小さな器官ですが、大きなことを言って自慢します。見なさい。あのように小さな火が、あのように大きな森を燃やします。
- 6 舌は火です。不義の世界です。舌は私たちの諸器官の中であってからだ全体を汚し、人生の車輪を燃やして、ゲヘナの火によって焼かれます。
- 7 どのような種類の獣も鳥も、這うものも海の生き物も、人類によって制することができ、すでに制せられています。
- 8 しかし、舌を制することができる人は、だれもいません。舌は休むことのない悪であり、死の毒で満ちています。
- 9 私たちは、舌で、主であり父である方をほめたたえ、同じ舌で、神の似姿に造られた人間を呪います。
- 10 同じ口から賛美と呪いが出て来るのです。私の兄弟たち、そのようなことが、あってはなりません。

- 11 泉が、甘い水と苦い水を同じ穴から湧き出させるのでしょうか。
- 12 私の兄弟たち。いちじくの木がオリーブの実をならせたり、ぶどうの木がいちじくの実をならせたりすることができるのでしょうか。塩水も甘い水を出すことはできません。
- 13 あなたがたのうちで、知恵があり、分別のある人はだれでしょうか。その人はその知恵にふさわしい柔和な行いを、立派な生き方によって示しなさい。
- 14 しかし、もしあなたがたの心の中に、苦々しいねたみや利己的な思いがあるなら、自慢したり、真理に逆らって偽ったりするのはやめなさい。
- 15 そのような知恵は上から来たものではなく、地上のもの、肉的で悪魔的なものです。
- 16 ねたみや利己的な思いのあるところには、秩序の乱れや、あらゆる邪悪な行いがあるからです。
- 17 しかし、上からの知恵は、まず第一に清いものです。それから、平和で、優しく、協調性があり、あわれみと良い実に満ち、偏見がなく、偽善もありません。
- 18 義の実を結ばせる種は、平和をつくる人々によって平和のうちに蒔かれるのです。

第4章

- 1 あなたがたの間の戦いや争いは、どこから出て来るのでしょうか。ここから、すなわち、あなたがたのからだの中で戦う欲望から出て来るのではありませんか。
- 2 あなたがたは、欲しても自分のものにならないと、人殺しをします。熱望しても手に入れることができないと、争ったり戦ったりします。自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。
- 3 求めても得られないのは、自分の快樂のために使おうと、悪い動機で求めるからです。
- 4 節操のない者たち。世を愛することは神に敵対することだと分からないのですか。世の友になりたいと思う者はだれでも、自分を神の敵としているのです。
- 5 それとも、聖書は意味もなく語っていると思いますか。「神は、私たちのうちに住ませた御霊を、ねたむほどに慕っておられる。
- 6 神は、さらに豊かな恵みを与えてくださる」と。それで、こう言われています。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与える。」
- 7 ですから、神に従い、悪魔に対抗しなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。
- 8 神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。罪人たち、手をきよめなさい。二心の者たち、心を清めなさい。
- 9 嘆きなさい。悲しみなさい。泣きなさい。あなたがたの笑いを悲しみに、喜びを憂いに変えなさい。
- 10 主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高く上げてくださいます。
- 11 兄弟たち、互いに悪口を言い合ってははいけません。自分の兄弟について悪口を言ったり、さばいたりする者は、律法について悪口を言い、律法をさばいているのです。もしあなたが律法をさばくなら、律法を行う者ではなく、さばく者です。
- 12 律法を定め、さばきを行う方はただひとりで、救うことも滅ぼすこともできる方です。隣人をさばくあなたは、いったい何者ですか。

- 13 「今日か明日、これこれの町に行き、そこに一年いて、商売をしてもうけよう」と言っている者たち、よく聞きなさい。
- 14 あなたがたには、明日のことは分かりません。あなたがたのいのちとは、どのようなものでしょうか。あなたがたは、しばらくの間現れて、それで消えてしまう霧です。
- 15 あなたがたはむしろ、「主のみこころであれば、私たちは生きて、このこと、あるいは、あのことをしよう」と言うべきです。
- 16 ところが実際には、あなたがたは大言壮語して誇っています。そのような誇りはすべて悪いことです。
- 17 こういうわけで、なすべき良いことを知っていながら行わないなら、それはその人には罪です。

第5章

- 1 金持ちたちよ、よく聞きなさい。迫り来る自分たちの不幸を思って、泣き叫びなさい。
- 2 あなたがたの富は腐り、あなたがたの衣は虫に食われ、
- 3 あなたがたの金銀はさびています。そのさびがあなたがたを責める証言となり、あなたがたの肉を火のように食い尽くします。あなたがたは、終わりの日に財を蓄えたのです。
- 4 見なさい。あなたがたの畑の刈り入れをした労働者への未払い賃金が、叫び声をあげています。刈り入れをした人たちの叫び声は、万軍の主の耳に届いています。
- 5 あなたがたは地上でぜいたくに暮らし、快樂にふけり、屠られる日のために自分の心を太らせました。
- 6 あなたがたは、正しい人を不義に定めて殺しました。彼はあなたがたに抵抗しません。
- 7 ですから、兄弟たち。主が来られる時まで耐え忍びなさい。見なさい。農夫は大地の貴重な実りを、初めの雨や後の雨が降るまで耐え忍んで待っています。
- 8 あなたがたも耐え忍びなさい。心を強くしなさい。主が来られる時が近づいているからです。
- 9 兄弟たち。さばかれることがないように、互いに文句を言い合うのはやめなさい。見なさい。さばきを行う方が戸口のところに立っておられます。
- 10 兄弟たち。苦難と忍耐については、主の御名によって語った預言者たちを模範にしなさい。
- 11 見なさい。耐え忍んだ人たちは幸いだと私たちは思います。あなたがたはヨブの忍耐のことを聞き、主によるその結末を知っています。主は慈愛に富み、あわれみに満ちておられます。
- 12 私の兄弟たち。とりわけ、誓うことはやめなさい。天にかけても地にかけても、ほかの何にかけても誓ってはいけません。あなたがたの「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」でありなさい。そうすれば、さばきにあうことはありません。
- 13 あなたがたの中に苦しんでいる人がいれば、その人は祈りなさい。喜んでいる人がいれば、その人は賛美しなさい。
- 14 あなたがたのうちに病気の人がいれば、教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリーブ油を塗って祈ってもらいなさい。
- 15 信仰による祈りは、病んでいる人を救います。主はその人を立ち上がらせてくださいます。もしその人が罪を犯していたなら、その罪は赦されます。

- 16 ですから、あなたがたは癒やされるために、互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、働くと大きな力があります。
- 17 エリヤは私たちと同じ人間でしたが、雨が降らないように熱心に祈ると、三年六か月の間、雨は地に降りませんでした。
- 18 それから彼は再び祈りました。すると、天は雨を降らせ、地はその実を实らせました。
- 19 私の兄弟たち。あなたがたの中に真理から迷い出た者がいて、だれかがその人を連れ戻すなら、
- 20 罪人を迷いの道から連れ戻す人は、罪人のたましいを死から救い出し、また多くの罪をおおうことになるのだと、知るべきです。